



行健中学校だより

郡山市立行健中学校

天行は健なり

No.18 2010/9/18(金)

校長室「三栗文庫」から ～古典のすすめ～ 校長 齋藤正徳

1学期、校長室前に『三栗文庫』を設けてから、たくさんの生徒諸君が本を手に取り、中には何冊も借りて読んでくれた生徒もいます。

『三栗文庫』には、普段、中学生があまり読まないようなビジネス書から、歴史書、哲学書、日本や中国の古典まで幅広いジャンルの本を揃えています。生徒の皆さんには、そうした本も手に取り、自分の知らない世界をのぞき、新しい見方や生き方、考え方を知ってほしいと思います。

今回は、『三栗文庫』の中から、中国の古典を少し紹介したいと思います。中国の古典というと、皆さんにとっては、古臭くて難しそうで全く興味が持てないという印象かもしれませんが、本校の図書室には漫画版の『三国志』や『史記』があり、それらを読んで中国の古典に触れている人も多いと思います。国語では3年生で『論語』の学習もします。

『論語』に「君子モトヨリ窮ス。小人窮スレバコトニ濫ス」という言葉があります。「濫ス」とは取り乱すこと。君子（立派な人物）は窮地にあってても小人（つまらない人物）のよう

に取り乱したりはしない、という意味です。

『後漢書』という歴史の本には「疾風ニ勁草ヲ知ル」という有名な言葉があります。「勁草」とは強い草のこと。普段は弱い草も、強い草も見分けがつかないが、疾風（激しい風）が吹くと、弱い草がなぎ倒される中であって、勁草（強い草）はしっかりと立っている。つまり、強い人は逆境にあってこそ、その真価を発揮する、という意味です。

『菜根譚』という書物にある「私意ヲ憂ウルコトナカレ、快心ヲ喜ブコトナカレ、久安ヲ恃ムコトナカレ、初難ヲ憚ルコトナカレ」は、「失敗してもよくよするな。成功しても有頂天になるな。安楽な生活になれるな。ぶつかった困難にくじけるな。」という意味です。

それぞれ言葉は違いますが、困難に直面した際の心構えを教えてください。縁遠いと思われる中国の古典の中に、今に生きる私たちの支えや道しるべになってくれる豊かな言葉があります。ハードルは高いかもしれませんが、読書の秋、皆さんも古典を手にとってみませんか。

日曜参観・PTAバザー

12日に日曜参観とPTAバザーを実施しました。当日は朝から強い雨が降っていたにもかかわらず、保護者の皆様には多数ご参加いただきありがとうございました。

各学年とも、日々の授業に落ち着いて熱心に取り組んでいます。参観でも生徒の充実した学習活動ぶりをご覧いただけたことと思います。また、バザーでは総務委員の皆様はじめ、数多くの保護者の皆様に品物の提供、準備、購入と、多大なご協力をいただき、本当にありがとうございました。益金は生徒の教育活動の充実のために活用いたします。



美しい日本語コンテスト

来週22日（水）に市民文化センターで「美しい日本語表現コンテスト」が行われます。このコンテストは「国語教育の充実」を重点施策として掲げる郡山市が、優れた作品の暗誦や朗読を通して日本語の美しさを次代に伝承できる日本人の育成をねらいに開催するものです。

本校からは、2年生の関戸さん（暗誦「大人になれなかった弟たちに…」）と板橋くん（朗読「羅生門」）が参加します。

本日、ご案内のプリントを配布しました。保護者の皆様もぜひご来場いただき、中学生の豊かな表現をご鑑賞ください。

1学年学習旅行 2学年インターンシップ



3学年高校説明会



15日（水）、1学年は喜多方市内での地場産業の体験学習、2学年は市内事業所等での職場体験、3学年は高等学校の校長先生や進路担当の先生方を招いて受験や高校生活のお話を聞く高校説明会を行いました。

各学年とも直接体験したり話を聞くことにより地域や進路、職業について十分に学ぶことができました。

【来週の行事予定】

20日（月） 敬老の日 ※テスト前部活中止

○久保田・福原地区敬老会

21日（火） 火①②③④⑤⑥

○定期テスト（①音美②保体③技家）

○朝の交通安全指導（～27日）

22日（水） 水1234木5木6

○中学生美しい日本語表現コンテスト

○生徒会役員選挙活動（～10/6）

○合唱コンクール東北大会会場練習

○スクールカウンセラー

23日（木） 秋分の日

24日（金） 金1234⑤

○合唱東北大会 ○激励会

25日（土）

○合唱東北大会

○市民体育祭（～26）

26日（日）

○駅伝試走 南相馬市



健翔祭テーマ決定！

「軌跡 ～見えない奇跡を 見える軌跡に～」

10月22日（金）に開催される健翔祭のテーマが決まりました。全校生からの意見をもとに、総務委員会のメンバーが話し合っ、「軌跡～見えない奇跡に見える軌跡に」というテーマを掲げました。

全校生一人ひとりの陰に隠れた日々の努力とその成果（＝「奇跡」）を、学習発表やステージ発表を通して、目に見える「軌跡」として表現しようという意味が込められています。

健翔祭実行委員紹介 【実行委員長】石井くん（3-6） 【実行副委員長】佐浦さん（3-6）、伊藤さん（3-5）、高本くん（3-6）

【総務委員会】 <委員長> 石井くん

（1年）景山さん、鈴木くん、藤田くん、湯口くん、五十嵐くん、佐藤くん、紺野さん
（2年）福田くん、和田くん、加藤さん、菅野さん、菅野くん、益成さん、井戸川さん
（3年）大橋くん、大和田さん、紺野さん、市川さん、新田さん、長澤くん

【学習委員会】 <委員長> 佐浦さん

（1年）岩谷さん、相馬くん、本田くん、三浦さん、高橋さん、源後くん、鈴木さん
（2年）佐藤さん、増子さん、安司さん、海老原さん、橋本くん、蜷川くん、本田さん、関戸さん
（3年）安部さん、遠藤さん、鹿野さん、七海さん、長湯くん、藤田くん

【KST委員会】 <委員長> 伊藤さん

（1年）桑原さん、鈴木さん、村越くん、小林さん、渡邊くん、山崎さん、大橋くん
（2年）岡田さん、遠藤くん、小西さん、安宅さん、津谷さん、瀬和くん、板橋くん、富樫くん
（3年）佐々木さん、鈴木さん、鈴木さん、村上さん、佐久間くん、鈴木さん

【big Art 委員会】 <委員長> 高本くん

（1年）鈴木さん、金子くん、益成さん、太田くん、落合さん、樋口くん、管家さん
（2年）安藤くん、曾田くん、佐々木さん、馬場さん、渡邊さん、相原さん、佐藤さん、河野さん
（3年）岩沢くん、石川さん、五十嵐さん、猪腰さん、吉田さん、白井さん



第4回全校集会～生徒発表紹介～

『全日本合唱コンクール東北大会に向けて』 合唱部長 3年 鈴木 さん



東北大会は私達が目指している全国大会へと繋がる大事な大会です。その大事な大会である東北大会出場校が決まる県合唱コンクールが8月29日に福島市音楽堂で行われました。

合唱部は53名のうち、17名が特設部員で、そのほとんどが今回初めて大きなステージで歌うという状況であるにもかかわらず、今年は例年と違い本命である県合唱コンクールが先に行われるということで、私達にとって不安はとても大きかったです。また、2年連続東北大会出場という先輩方が築き上げられた伝統を受け継がなければいけないという気持ちもありました。プレッシャーはありましたが、私達は心一つに、音楽を楽しんで歌うことができました。少し緊張しましたが、みんなでハーモニーを奏でることはとても気持ちが良かったです。

結果発表を聞くとときはすごくドキドキしました。東北大会出場権は、参加71校中銀賞まで24校が得られます。まず最初に金賞受賞校の発表。残念ながら、私達の学校名は呼ばれませんでした。次に銀賞に入賞していることを願いました。銀賞の1校目では私達は呼ばれず、もうダメかと思いました。その時、私達の学校名が呼ばれました。結果は、銀賞でした。東北大会への出場権を得ることができ、嬉しいと思うと同時に、銀賞という結果に悔しいと思う気持ちもありました。それは私だけでなく、皆同じ気持ちだったと思います。

東北大会出場権を得ても、私達は安心して余裕はありません。なぜなら9月2日に市合唱祭を控えているからです。この大会では金賞の4校しか県大会出場権を得られません。福島県は合唱王国と呼ばれています。その中でも郡山市は最もレベルが高い市として知られていて、全国レベルの学校が

いくつもあります。また、このコンクールでは人数制限があり、35人しか歌えない大会です。ですから、県合唱コンクールのような演奏ができるか、県大会に出場できる4校のうちの1校に選ばれるか不安でした。でも、ステージに上がることができない仲間達のためにも頑張ろうと一生懸命に歌いました。

今回は、結果発表がないため、顧問である郁子先生だけが文化センターに残り、私達は学校で演奏の反省をしながら結果の知らせを待っていました。郁子先生が学校に戻られて、結果を教えてくださいました。結果は金賞の3位で、県大会出場とのことでした。すごく嬉しくて喜んだことを覚えています。まるで夢みたいに思えました。

今思えば、ここまでくるのにたくさんの出来事がありました。最初は、男子の人数が少なかったり、常設部員の3年生が4人しかいないことでいろいろと苦労もありました。また、夏休みの練習では部員全員が集まったことが一度もなく、私自身も部長として皆を団結させることができていたのだろうかとも悩むこともありましたが、悩みながらも、仲間やたくさんの方々を支えていただきながら、ここまですることができました。「合唱は一人ではできない。」私が合唱を通して学んだことです。

明日行われる県音楽祭と、9月25日に行われる東北大会では、今まで支えて下さった方々への感謝の気持ちを忘れずに、先生や仲間を信じて、心一つに楽しんで良い演奏ができるようにがんばります。そして、全国大会に出場します。そのためには、大会まで気を抜かず、私達が今できる事を、精一杯頑張ります。